

「2009年度日本OSS貢献者賞、日本OSS奨励賞」受賞者を選定

IPA (独立行政法人情報処理推進機構、理事長：西垣 浩司)は、このたび、優れたオープンソースソフトウェア(OSS)の開発及び普及に貢献した個人等を表彰する「2009年度日本OSS貢献者賞」および今年度から新設した「2009年度日本OSS奨励賞」の受賞者を選定しました。

「日本OSS貢献者賞」は、日本におけるOSS開発の振興を図ることを目的に、影響力のある開発プロジェクトを創造・運営した開発者や、グローバルプロジェクトにおいて活躍する卓越した開発者、OSS普及への貢献者を表彰するものです。本賞は2005年度に創設し、今年度が第5回目となります。

今年度は昨年度までの「日本OSS貢献者賞」に加え、過去一年間にOSSの開発や普及に顕著な活躍をした個人ないしグループを表彰する「日本OSS奨励賞」を新設しました。

■ 「2009年度日本OSS貢献者賞」受賞者(4名、50音順)

- ・ 小崎 資広(こさき もとひろ)氏
- ・ 瀧田 佐登子(たきた さとこ)氏
- ・ フェルナンド ルイス・バスケス カオ氏
- ・ 本田 茂広(ほんだ しげひろ)氏

■ 「2009年度日本OSS奨励賞」受賞者(6名、2団体 50音順)

(個人)

- ・ 新井 紀子(あらい のりこ)氏
- ・ 安藤 祐介(あんど うすけ)氏
- ・ 新藤 愛大(しんとう よしひろ)氏
- ・ 高木 正弘(たかぎ まさひろ)氏
- ・ 寺島 広大(てらしま こうだい)氏
- ・ 林 拓人(はやし たくと)氏

(団体)

- ・ 山形県立寒河江工業高等学校・情報技術科
- ・ LOCAL (ローカル)

(受賞内容等詳細は別紙1を参照ください)

■ 選定方法

自薦、他薦により広く推薦を受けた候補者(計 57 名、10 団体)の中から、審査委員会(委員長: 相磯 秀夫/東京工科大学 理事)の審査によって受賞者を決定しました。

(審査委員会の名簿は別紙 2 をご参照ください)

■ 授賞式

10 月 29 日(木)15:30~16:00 明治記念館 1F 曙

※「IPA Forum 2009¹」のオープンソフトウェア・セッションの中で授賞式を行います。

■本件に関するお問い合わせ先

IPA オープンソフトウェア・センター 保坂/大内

Tel: 03-5978-7507 Fax: 03-5978-7517 E-mail: oss-award2009@ipa.go.jp

■報道関係からのお問い合わせ先

IPA 戦略企画部広報グループ 横山/大海

Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp

¹ IPA Forum 2009 は、IPA の事業活動の成果の紹介と普及促進を目的として開催している主催イベントです。
イベントの詳細は、次の URL をご参照ください。
<http://www.ipa.go.jp/event/ipaforum2009/index.html>

2009 年度日本 OSS 貢献者賞、奨励賞 受賞内容の詳細

日本 OSS 貢献者賞受賞内容の詳細 (五十音順)

小崎 資広(こさき もとひろ)氏

Linux カーネル²開発についての活動をしており、特にメモリー管理の大幅な改善の成果は、企業システム分野、組込み分野における Linux の飛躍的な性能向上に繋がっている。LKML³での活動をもとに、日本語で LKML の動向を平易に解説する「Kernel Watch」の Web 連載を行い、また、セキュリティ & プログラミングキャンプ⁴、コミュニティの勉強会などで、国内エンジニアの技術力向上や国外の開発者とのコミュニケーション力向上にも継続的に取り組むなど、日本の Linux カーネル開発量の拡大へも影響を与えている。

瀧田 佐登子(たきた さとこ)氏

1990 年代より Netscape⁵社において Netscape ブラウザの国際化開発に携わる。その後、オープンソース化した Mozilla Project⁶でも黎明期から精力的に活動を続け、2004 年に国内におけるブラウザ市場の活性化や Mozilla 技術の啓蒙活動を目的とした非営利の公益法人 Mozilla Japan を設立。その後、代表理事に就任。Firefox⁷をはじめとする Mozilla 製品普及における中心的人物の一人として知られ、現在は OSS をベースとした人材育成にも取り組む。氏の作り上げた基盤をベースに多くのコミュニティメンバーが開発・普及に活躍していることが、広く評価されている。

フェルナンド ルイス・バスケス カオ(Fernando Luis Vázquez Cao)氏

Linux カーネル開発についての活動をしており、特に「カーネルクラッシュダンプ」⁸と、「ディスク I/O 制御/仮想化」⁹において貢献し、コミュニティの多くの開発者と協同で信頼性の高いクラッシュダンプ機構を開発し、メインライン¹⁰に取り入れさせた上で、その信頼性を向上させるプロジェクトを立ち上げた。また、仮想化環境におけるゲスト OS の入出力の制御を可能にする機能も提案し、Linux を安心して使える環境の整備に貢献した。これらの成果は、世界の企業システムが恩恵を受けており、高く評価されている。

本田 茂広(ほんだ しげひろ)氏

PostgreSQL¹¹を中心に日本語ドキュメント整備を精力的に続けている。PostgreSQL が日本において確固たる地位を築いているのは、本田氏の果たした役割が大きいといえる。新バージョンのリリースに対しても、ほぼ同時期に日本語ドキュメントをリリースするなど大変な努力がうかがえ、こうして整備されてきた日本語ドキュメントは、PostgreSQL ユーザにとって貴重な情報源となっており、ドキュメント整備による貢献を続ける姿は、コミュニティにおける一つのロールモデル(模範)といえる。

² Linux カーネル: OSS のオペレーティングシステム Linux OS の中核をなす部分。CPU、メモリ、ディスク、入出力デバイス等を制御し、アプリケーションプログラムの実行管理を行う。

³ Linux のカーネル開発者のディスカッションメーリングリスト。

⁴ IPA およびセキュリティ & プログラミング・コンソーシアムが主催した、選抜された 22 歳以下の未就労の学生・生徒に対し、高度 IT 人材の早期発掘と育成にむけて、専門技術を実践的に指導する 5 日間の教育キャンプ。

⁵ グラフィカルなインターネットブラウザを開発した企業。

⁶ Netscape 社が次世代のインターネットスイートを開発するために設立/作成されたフリー/オープンソースプロジェクト。

⁷ OSS の代表的な Web ブラウザ。

⁸ オペレーティングシステムの信頼性を高めるために、OS 内部の不具合があった場合にその内部情報を記録して解析可能にする機能。不具合発生時に実行される機能のため、実現が難しい。

⁹ 仮想化技術を適用した際、仮想化された環境における性能を担保するために、ハードウェアやオペレーティングシステムから独立して、データを格納する固定ディスクの入出力を仮想マシンモニターでも制御可能にする技術。

¹⁰ Linux カーネルの本流となるソースコード。正式版として公開される。

¹¹ 代表的な OSS オブジェクト・リレーショナル・データベース。

日本 OSS 奨励賞受賞内容の詳細 (五十音順)

(個人)

新井 紀子(あらい のりこ)氏

OSS の教育用ポータル向け CMS「NetCommons¹²」を開発、公開した。NetCommons は、CMS、LMS¹³、グループウェアの機能を備えた統合コミュニティウェアである。2001 年に国立情報学研究所にて開発を開始、2005 年より OSS として公開、2008 年の NetCommons バージョン 2.1 以降は企業からのコード寄付が増大し、機能拡張速度が向上している。2005 年から毎年 NetCommons ユーザカンファレンスを開催し、2008 年、2009 年には 400 名以上の参加者が集まるなど、その普及の勢いは増している。

安藤 祐介(あんどう ゆうすけ)氏

Web アプリケーション開発フレームワーク CakePHP¹⁴について、勉強会での講演や関連書籍の執筆を精力的に行い同コミュニティの日本での発展に大きく寄与した。

また米国のメイン開発者とのコミュニケーションを積極的に行い、日本でのイベントの招聘や海外の国際的イベントへの参加を通じ、日本のコミュニティの活動を海外にも認知させ相互交流の道を開いている。

新藤 愛大(しんどう よしひろ)氏

ActionScript/Flash¹⁵アプリケーションの、世界的に知られる若手開発者である。BeInteractive! というサイトで Flash に関する技術情報を発信している。

2007 年から Flash/Flex/ActionScript のためのオープンソースリポジトリ、Spark project¹⁶ を立ち上げ、オープンソース文化が根付いていなかった日本の Flash コミュニティにも、ソース公開の重要性と楽しさを広めた。2008 年からは Spark project による勉強会も毎月開催しており、技術の啓蒙に大きく貢献している。

高木 正弘(たかぎ まさひろ)氏

PHP¹⁷のマニュアルの日本語翻訳で精力的に活動を続けている。PHP が日本において広く使われるようになった理由には、膨大な日本語オンラインマニュアルが整備されていることがあげられる。それら日本語マニュアルの翻訳を行っているのが高木氏を始めとする PHP マニュアル翻訳プロジェクトである。PHP のフレームワークである Zend Framework のマニュアル翻訳にも参加するなど、多くのユーザが恩恵を受けている。

¹² OSS の教育機関向けのコンテンツ管理システム (CMS)。教育機関の先生や生徒が、Web ページを容易かつ安全に作成することができる。

¹³ Learning Management System (ラーニング マネージメント システム) の略で、日本語では学習管理システム。

¹⁴ PHP のための高速開発フレームワークで、アプリケーションの開発、メンテナンス、インストール等の機能を提供する。

¹⁵ Adobe 社が提唱する、グラフィカルな Web アプリケーションを実現する実行環境技術。そのアプリケーション記述言語が ActionScript であり、Web で人気のある Javascript 言語と同様に ECMA Script 標準に準拠している。

¹⁶ 新藤氏が主催する Flash 開発者のためのソースコード公開サイト。情報を集約するための Wiki と掲示板、ソースコードの問題を管理するチケットシステムを備えている。

¹⁷ OSS のスクリプト言語。主に Web サイトやサービスを作成するのに用いられる。

寺島 広大(てらしま こうだい)氏

運用監視ソフトウェア ZABBIX¹⁸の日本コミュニティである ZABBIX-JP の代表を努めている。ZABBIX-JP の黎明期であった 2005 年 8 月に ZABBIX-JP を開催し、日本語ドキュメントの公開や掲示板の運用を行っている。近年、OSS のエンタープライズシステムへの普及に伴って、運用監視についても急速に注目が集まるなか、その ZABBIX-JP の活動を通じて OSS の運用監視ソフトウェアの普及に多大な貢献をしている。

林 拓人(はやし たくと)氏

高校生ながら独学で言語を開発していたが、U20 プログラミングコンテスト¹⁹においてコミュニティの存在に気づき、先輩達との交流を経て、自分の開発成果である Cyan²⁰や Yellow²¹言語を公開、コミュニティのフィードバックを得るようになった。2009 年のセキュリティ&プログラミングキャンプにおいては、短い期間で Ruby 言語の” != ” という基本的な処理を最適化し、特定ベンチマークにおいて 500%の性能改善を達成した。この成果は、Ruby 開発にすでに取り込まれるなど、若いながら実践的な成果を残している。

(団体)

山形県立寒河江工業高等学校・情報技術科

(やまがたけんりつ さがえこうぎょうこうとうがっこう・じょうほうぎじゅつか)

生徒の情報活用能力を育成するためにオープンソースソフトウェアを活用し、オープンな環境の体験や、情報活用の本質を理解させることで、生徒・教員全体のリテラシー向上をめざしている。また、スペシャリストをめざす生徒には、課題研究等の科目でスキル証明としての Linux 技術者認定試験 LPIC²²取得に向けた取り組みや、実践的活動を展開している。

LOCAL (ローカル)

LOCAL は、北海道におけるユーザ会、勉強会などの技術系地域コミュニティの活動を支援するとともに、コミュニティ間の連携イベント企画開催などを通して、地域を盛り上げていくことを目標とする一般社団法人である。オープンソースカンファレンス Hokkaido²³の現地実行委員会やコミュニティ開催・実施の支援を行っている。その活動は、他の地域に波及しはじめるなど、地域内外で高い評価を得ている。

¹⁸ OSS の運用監視ソフトウェアのひとつ。

¹⁹ 経済産業省が主催する 20 歳以下の学生・生徒を対象としたプログラミングの競技会。

²⁰ Lisp の S 式とマクロの分離を試みた発展途上の先進的プログラミング言語。

²¹ 継続を中心とする評価システムを実装した発展途上の先進的プログラミング言語。

²² Linux Professional Institute Certification, LPI-Japan が運営。

²³ 日本における OSS 普及促進の代表的な活動および各コミュニティへの支援活動で、北海道で開催されたもの。

2009 年度日本 OSS 貢献者賞審査委員会名簿

	氏 名	所 属
委員長	相磯 秀夫	東京工科大学 理事
委員	石井 達夫	SRA OSS Inc. (2008年度日本OSS貢献者賞受賞者)
委員	上田 理	ソニー株式会社(CE Linux Forum)
委員	大谷 真	湘南工科大学教授
委員	鈴木 友峰	株式会社 日立製作所(日本OSS推進フォーラム 座長)
委員	平林 俊一	富士通株式会社(Wide Studioの開発者) (2006年度日本OSS貢献者賞受賞者)
委員	まつもと ゆきひろ	株式会社ネットワーク応用通信研究所(Ruby開発者) (2005年度日本OSS貢献者賞受賞者)
委員	吉藤 英明	慶應義塾大学講師(USAGI Project) (2006年度日本OSS貢献者賞受賞者)

(敬称略、50音順)

日本 OSS 貢献者賞 受賞者一覧(敬称略)

年度／回	氏名	プロジェクト／活動
2005 年度 第 1 回	鵜飼 文敏(うかい ふみとし)	Debian Project の主要メンバー
	高橋 浩和(たかはし ひろかず)	Linux Kernel ²⁴ 開発への参画
	高林 哲(たかばやし さとる)	Namazu ²⁵ , quickml ²⁶ , gonzui ²⁷ の開発/プロジェクト運営
	まつもと ゆきひろ	Ruby の開発/プロジェクト運営
2006 年度 第 2 回	比嘉 康雄(ひが やすお)	Seasar ²⁸ の開発
	平林 俊一(ひらばやし しゅんいち)	WideStudio/MWT の開発プロジェクト
	山本 博之(やまもと ひろゆき)	Sylpheed ²⁹ の開発
	吉藤 英明(よしふじ ひであき)	IPv6 プロトコルスタック「USAGI」の開発
2007 年度 第 3 回	小山 哲志(こやま てつじ)	日本 PHP ユーザ会における技術者育成をはじめとした OSS 普及促進への貢献
	笹田 耕一(ささだ こういち)	Ruby を高速化するシステム YARV(Yet Another Ruby VM)の開発をはじめとした OSS への貢献
	佐藤 嘉則(さとう よしのり)	組み込み向け CPU への Linux の移植をはじめとした OSS への貢献
	松本 裕治(まつもと ゆうじ)	日本語形態素解析システム「茶筌(ChaSen)」の開発をはじめとした OSS への貢献
2008 年度 第 4 回	石井 達夫(いしい たつお)	PostgreSQL ³⁰ の開発、発展、普及に大きく貢献
	奥地 秀則(おくじ よしのり)	ブートローダ GRUB ³¹ の主要開発者で、GRUB2 では中心となって、設計・開発
	中野 雅之(なかの まさゆき)	Firefox の開発に関わり、日本語入力システムとの連携機能等の実装に貢献
	宮原 徹(みやはら とおる)	「オープンソースカンファレンス」を立ち上げ、中心的な立場で活動を推進

²⁴ Kernel: OS の中核をなす部分。CPU、メモリ、ディスク、入出力デバイス等を制御し、アプリケーションプログラムの実行管理を行う。

²⁵ Namazu: 日本語を含む任意の文字列でファイル群の全文検索を行うソフトウェア。

²⁶ quickml: 手軽にメーリングリストを開発/消滅できる、管理が簡単なメーリングリストシステム。

²⁷ gonzui: ソースコードに特化したソースコード検索エンジン。

²⁸ Seasar: 国産オープンソースの Java 開発フレームワーク。

²⁹ Sylpheed: 軽量かつ高機能の OSS 電子メールクライアント。

³⁰ PostgreSQL: 代表的な OSS オブジェクト・リレーショナル・データベース管理システム。

³¹ GRUB(GRand Unified Bootloader): GNU プロジェクトにより開発された高機能のブートローダ。